

# 東燃ゼネラル石油株式会社

## 2008年1-9月/7-9月期業績および年間予想

---

2008年11月14日



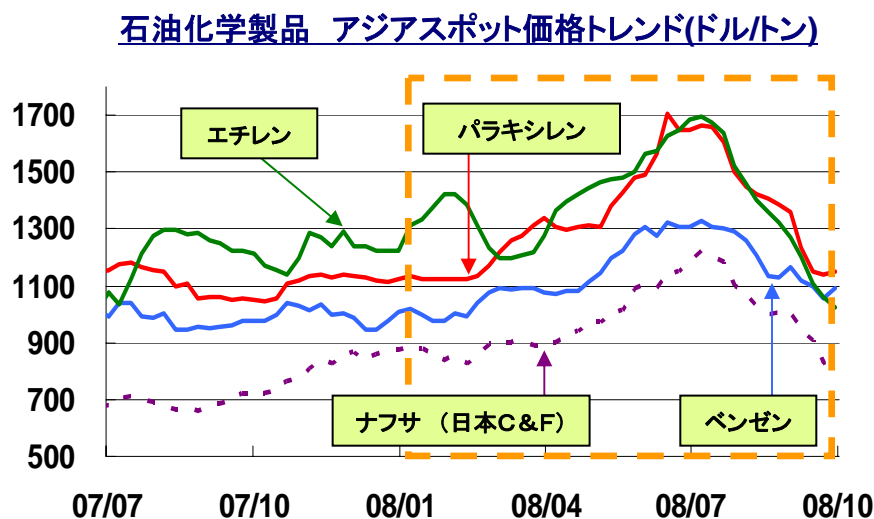
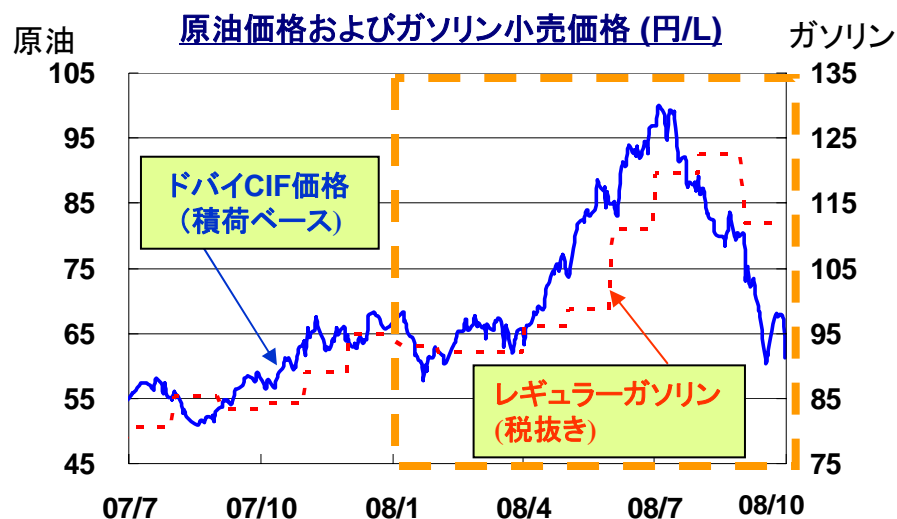
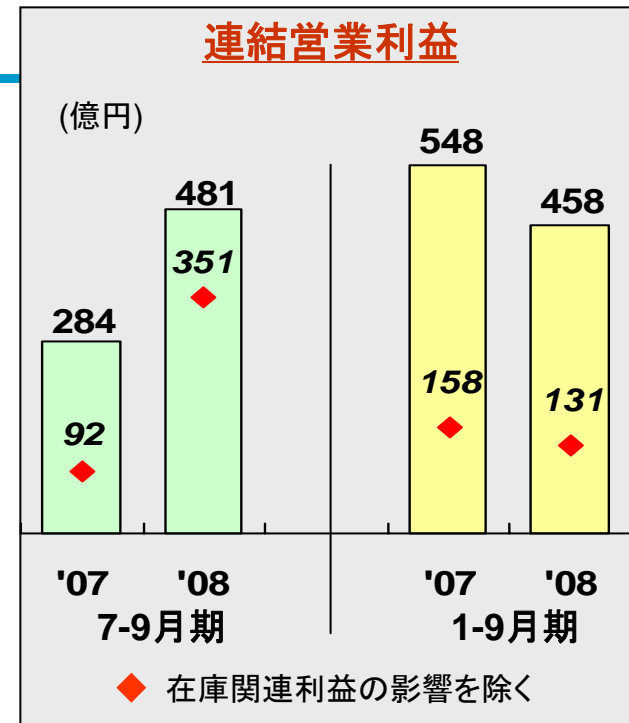
**Tonen General**

### 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本ならびに世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、および、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

# 決算ハイライト

- 7-9月期の営業利益は前年同期比で69%増加
  - » 石油部門における当社グロスマージンの増加
    - 在庫評価益によるプラスの影響
    - 原油コストの認識時点の違いにより、7-9月期の原油価格下落がプラスに大きく寄与
  - » 原油価格の変動と、油種間における需要・採算構造の変化
- 1-9月期の営業利益は前年同期比で16%減少
  - » 石油化学部門は連結利益に引き続き貢献したものの、部門利益は過去最高だった前年同期より45%減少
- 通期業績予想の修正
  - » 原油コストの認識時点の違いによるプラスの影響が10-12月期も継続
  - » 基礎石油化学品のマージントレンドに変化
  - » 1-9月期の大幅な在庫評価益は10-12月期に減少するものの、通期でも高いレベル
  - » 配当見通しは変更なし

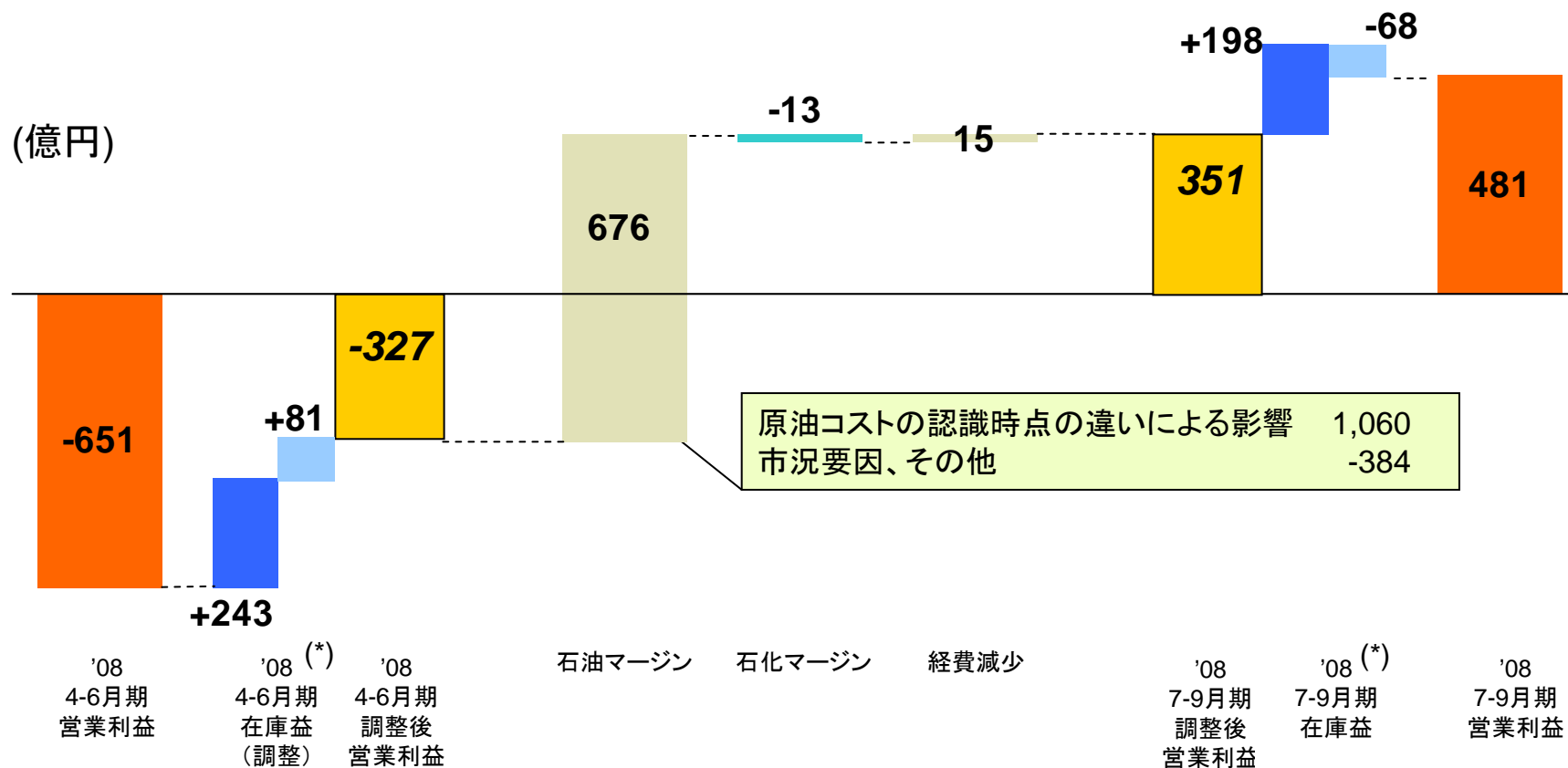


# 損益計算書 [1-9月期、連結]

(億円)	<u>'07</u>	<u>'08</u>			増減
	<u>1-9月期</u>	中間期	7-9月期	<u>1-9月期</u>	
売上高	21,915	16,926	9,388	<b>26,315</b>	4,400
営業損益	548	-23	481	<b>458</b>	-90
経常利益	594	38	492	<b>530</b>	-64
特別損益	-6	56	-14	<b>42</b>	49
純利益	355	59	283	<b>342</b>	-14
在庫関連利益の調整	-391	-196	-130	<b>-326</b>	64
調整後営業損益	158	-220	351	<b>131</b>	-26
石油部門 他	-292	-399	281	-118	175
石油化学部門	450	179	70	249	-201
<参考>石油部門に含まれる原油コストの認識時点の違いによる影響	-250	-490	550	60	310

# 営業利益の要因分析

['08年7-9月期連結業績、'08年4-6月期比較]



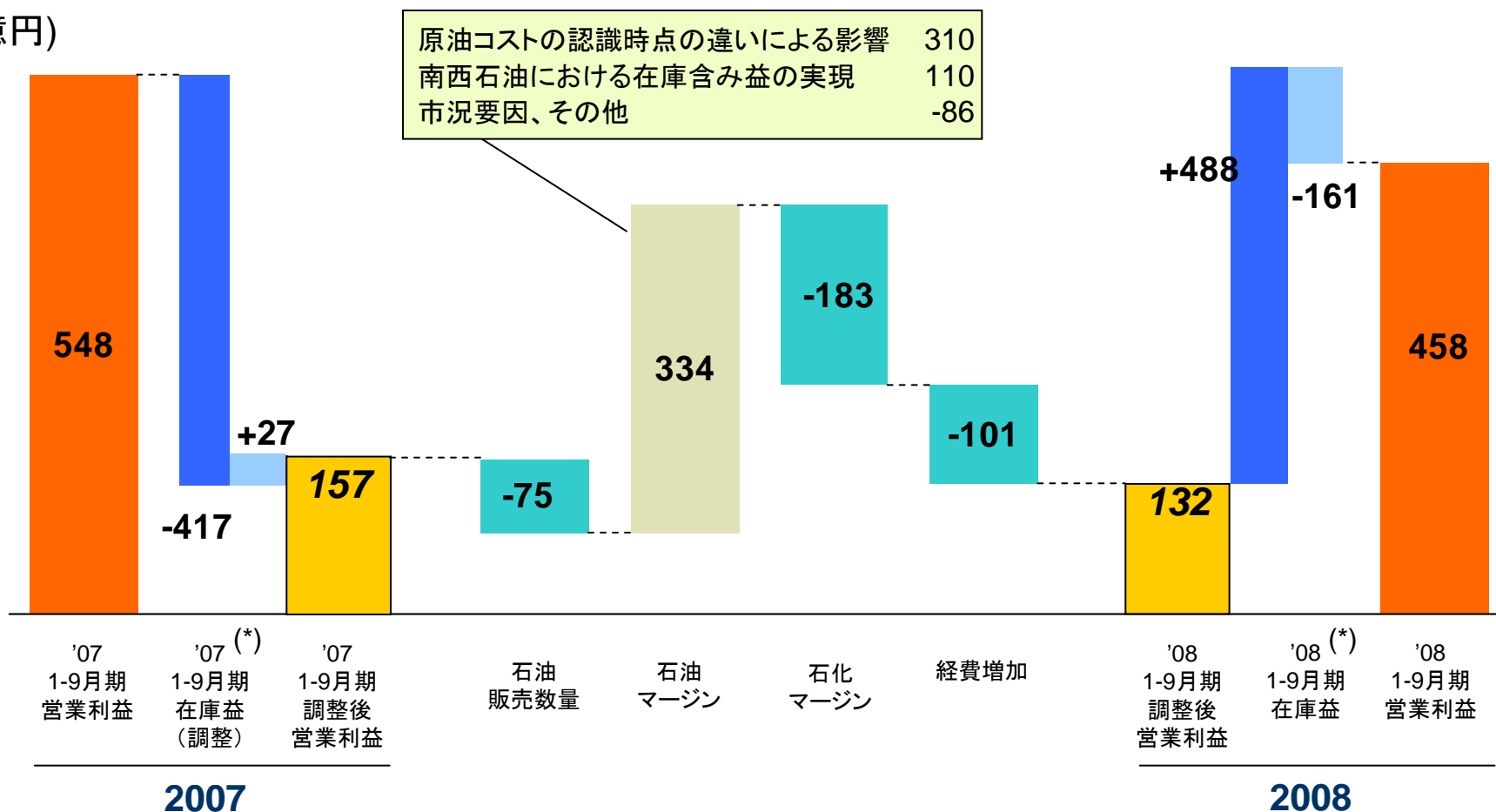
(\*) 在庫益は、後入先出法に基づく在庫評価益、並びに、一時的な在庫数量変動に因るその他影響額を含む

■ 在庫評価益 ■ その他要因

# 営業利益の要因分析

## ['08年1-9月期連結業績、前年同期比較]

(億円)



(\*) 在庫益は、後入先出法に基づく在庫評価益、並びに、一時的な在庫数量変動に因るその他影響額を含む

■ 在庫評価益

■ その他要因

# 販売数量/稼働率

- 主要5油種の国内販売数量は、全油種で前年同期に比べ減少
  - » 国内需要の減少
  - » 輸出機会を含めた中での、採算性追求の継続
    - ガソリンと中間留分(ジェット燃料、軽油、A重油)の輸出は前年同期比で70%増加
- オレフィン類の減少は、主に川崎工場の定期修理に伴うFCC回収プロピレン減少の影響
- 前年の和歌山工場でのプラント定期修理に伴う減少の反動により、芳香族製品の販売が大幅に増加

石油製品*		'07年1-9月期	'08年1-9月期	増減	業界増減
(千KL)					
日本国内での販売	ガソリン	8,382	7,433	-11.3%	-4.9%
	灯油	2,490	2,072	-16.8%	-8.2%
	軽油	2,722	2,250	-17.3%	-4.0%
	A重油	2,484	1,815	-26.9%	-9.7%
	C重油	1,583	1,304	-17.7%	13.4%
	主要5油種合計	17,661	14,874	-15.8%	-3.2%
	LPGその他	1,823	1,900	+4.2%	注記:
	小計	19,484	16,773	-13.9%	*: 連結ベース、バーターを除く
	輸出**	2,685	3,849	+43.4%	** : 保税販売を除く
	その他***	3,771	3,296	-12.6%	***: 潤滑油、原油、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む
石油製品合計	25,940	23,919	-7.8%		
<b>石油化学製品</b> (連結ベース)					
(千トン)					
オレフィン類他 (東燃化学分)	1,392	1,358	-2.4%		
芳香族類他 (東燃ゼネラル石油分)	558	625	+12.0%		
石油化学製品合計	1,949	1,982	+1.7%		

設備稼働率(常圧蒸留装置ベース、単体)

76%

72%

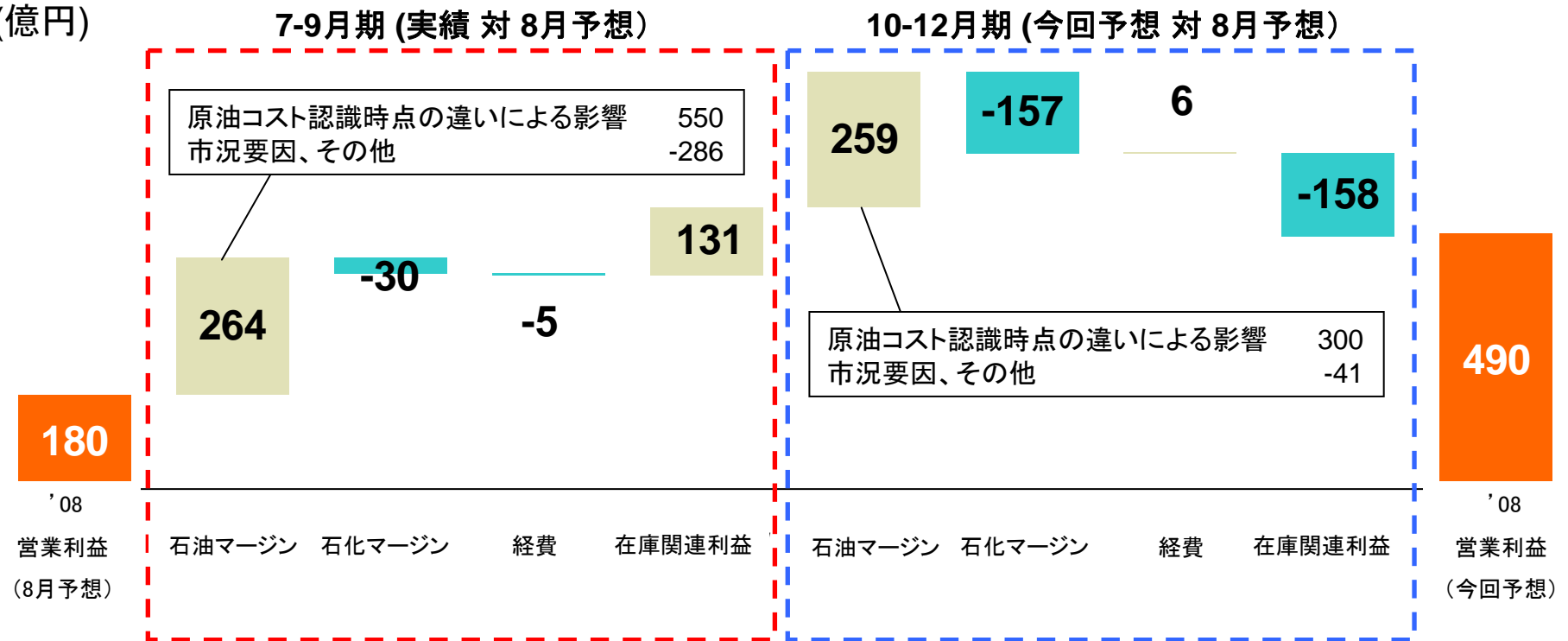
82%

# 2008年通期予想営業利益 [連結]

## ['08年修正予想、前回(8月)予想比]

- 2008年通期の営業利益は8月に公表した前回予想と比べて310億円増加
- 変更の主な理由は、原油コストの認識時点の違いに伴うプラスの影響による、当社石油製品マージンの増加
- 10-12月期の石油化学製品マージンを低めに修正
- 下期の経費予想は実質的に同水準
- 1-9月期に発生した在庫関連利益のうち、158億円が10-12月期に振戻り(減益要因)

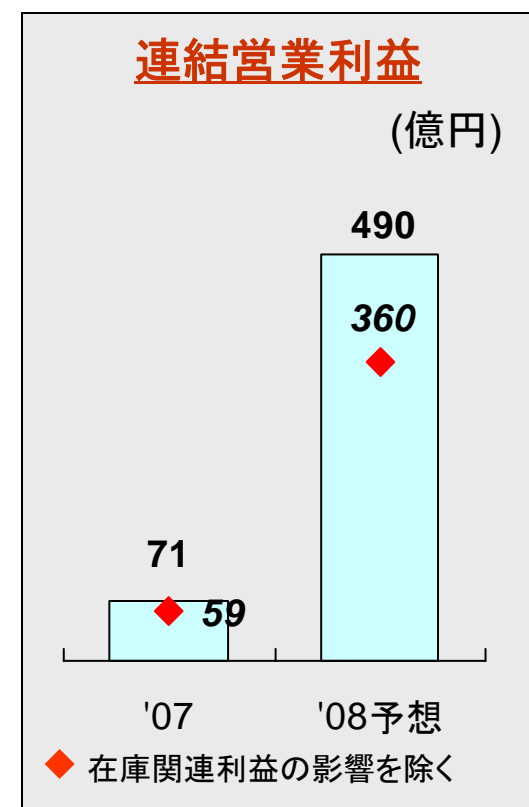
(億円)



# 2008年通期業績予想の修正 [連結]

- 2008年通期の調整後営業利益は360億円と予想
- 年末までに大きな原油価格の変動がない前提で期末の在庫水準を予想し、2008年通期で130億円の在庫関連利益を見込む
- 10月の原油価格下落を勘案し、原油コストの認識時点の違いによるプラス要因を360億円見込む

(億円)	'07実績	'08予想	1-9月期	10-12月期
			実績	予想 <sup>(*)</sup>
売上高	30,498	<b>33,000</b>	26,315	6,685
営業利益	71	<b>490</b>	458	32
経常利益	151	<b>560</b>	530	30
特別損益	-40	<b>40</b>	42	-2
当期純利益	70	<b>360</b>	342	18
在庫関連利益の調整	-12	<b>-130</b>	-326	196
<b>調整後営業利益</b>	<b>59</b>	<b>360</b>	<b>131</b>	<b>229</b>
石油部門 他	-497	170	-118	288
石油化学部門	557	190	249	-59



(\*) 56.0ドル/バレル (ドバイ)、  
98.4 円/ドル  
<'08年10月末の値>



## 補足資料

---

2008年11月14日

# キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]

(億円)

'08年1-9月期 \*

## 営業活動 / 投資活動

-121

税引前純利益	572
設備投資額/減価償却費/資産棄却	122
たな卸資産	203
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	-988
法人税等の支払	-85
その他	55

## 財務活動

+131

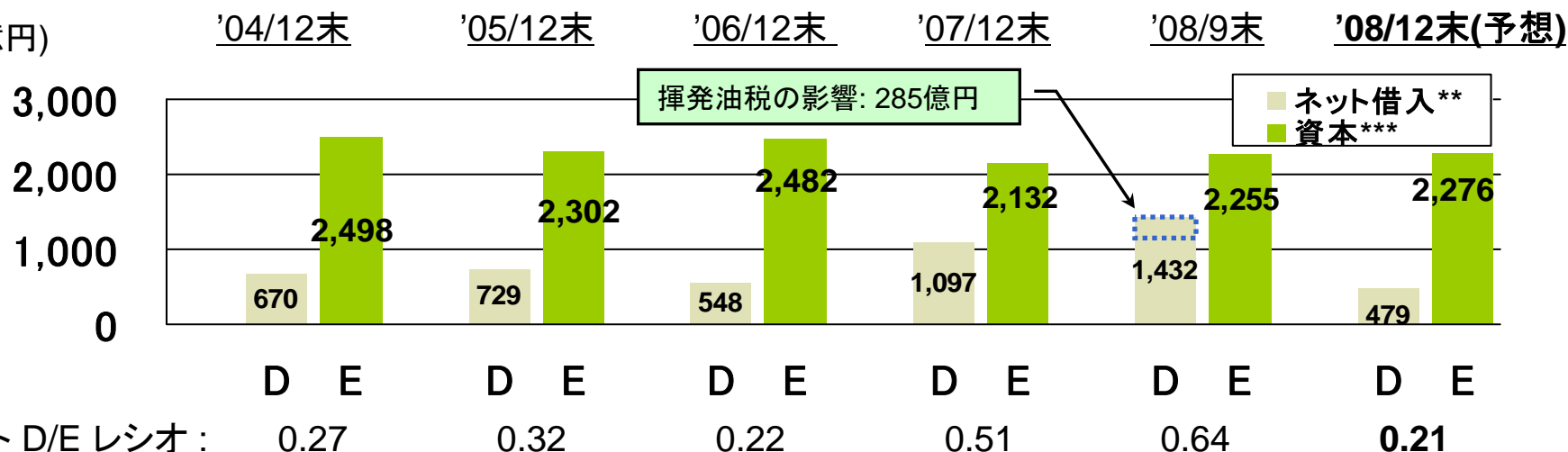
借入金が増(減)	343
配当金の支払額	-215
その他	3

## 現預金の増減

10

- 9月末のネット借入は、一時的要因により増加
  - » 揮発油税の納付タイミング(1か月分285億円)
  - » 揮発油税要因を除くと、ネット借入は'07年末と同水準
- 期末の予想ネットD/Eレシオ:21%
  - » 原油、石油製品価格の変化および季節要因による運転資金への影響
- 健全な財務体質を維持
  - » 日本格付研究所(JCR)による信用格付け  
長期AA-、短期J-1+

(億円)



\* 南西石油の株式売却に伴うバランスシート調整前のキャッシュ・フローを表す。この調整によるキャッシュ・フロー総額への影響はなし

\*\* 現預金・貸付金等の影響を除いた借入金、\*\*\* 少数株主持分を除く純資産